新しい歌

詩篇 40:1～5

40:1 私は切なる思いで主を待ち望んだ。主は、私のほうに身を傾け、私の叫びをお聞きになり、
40:2 私を滅びの穴から、泥沼から、引き上げてくださった。そして私の足を巌の上に置き、私の歩みを確かにされた。
40:3 主は、私の口に、新しい歌、われらの神への賛美を授けられた。多くの者は見、そして恐れ、主に信頼しよう。
40:4 幸いなことよ。主に信頼し、高ぶる者や、偽りに陥る者たちのほうに向かなかった、その人は。
40:5 わが神、主よ。あなたがなさった奇しいわざと、私たちへの御計りは、数も知れず、あなたに並ぶ者はありません。私が告げても、また語っても、それは多くて述べ尽くせません。

新しい歌とは

新しい歌というテーマは、聖書全体を貫いているテーマです。その意味するところは何であろうか。

主を喜ばせるために、絶え間なく作詞して新しい歌を歌い続けることであろうか。

新しい歌とは
贖われた者の歌

詩篇40:1～3から導きだされることは「新しい歌は贖われた者の歌である」ということである。

この歌は、かつて罪の泥にまみれて歌っていた歌とは、大きな相違がある。

この歌は、生まれ変わったすべての神の子の確かな証しである。私たちが罪の生活から解放される前は、この世の歌しか知らなかった。

この世の歌は、人の魂のうちに生まれ、魂の生活しか表現できないのである。

魂より生まれる
この世の歌

魂より生まれるこの世の歌は肉体と結びつくときに、より一層、人間を自己満足に浸らせるようになるのである。

この世の歌のめざすところは、娯楽であり、この世の歌は感情を喜ばすために歌われる。それは自己中心的であるので、しばしば自己憐憫、高慢、反抗などがあらわれてくるのである。

霊より生まれる
新しい歌

新しい歌は人間の霊の中から生まれる。霊は人間が神を意識するところであり、目には見えず、永遠のものである。

この霊は、アダムの罪により死んだ。しかし、神の霊によって生き返らされたのである。神は、霊が人間を支配する力となることを願っておられる。霊が生き返る時、霊は魂と肉体が神に従順になって歩むように方向づけをするのである。

魂と霊の相違

魂はエゴが支配する自己に焦点をあてるが、神の霊によって生き返らされた霊は、神を中心にし、神を喜ばすことを求めるのである。

ダビデに関しても、次のように記されている。

主の霊がその日以来、ダビデの上に激しく下った。（Ⅰサムエル16:13）

それゆえ、彼はこう記したのである。

主は、私の口に、新しい歌、われらの神への賛美を授けられた。（詩篇47:3）

新しい歌のもたらす業

私たちの歌が、魂の歌から霊の歌に変わる時、驚くべきことが起こってくる。人々は、神を見、神への聖なる畏敬の念をもち、神に信頼するようになるのである。

伝道における成功の秘訣の一つは、新しい歌にある。世の人々は新しい歌が歌われるのを聞く時、耳を傾け、畏敬の念をいだくのである。

生命を与える新しい歌

酒に酔ってはいけません。……御霊に満たされなさい。詩と賛美と霊の歌とをもって、互いに語り、主に向かって、心から歌い、また賛美しなさい。（エペソ5:18-19）

神の霊に満たされ、神の霊の支配の下で歩む人々からは、新しい歌、神への賛美が生まれてくる。その歌は常に新鮮である。たとえその歌が、今まで何回も歌われた歌であったとしても。

わたしを信じる者は、聖書が言っているとおりに、その人の心の奥底から、生ける水の川が流れ出るようになる。

（ヨハネ7:38）

このように神の霊によって生まれる歌は、生ける水となって新しく人々に生命を与えるものなのである。

神の創造的な業

先の事は、見よ、すでに起こった。新しい事を、わたしは告げよう。それが起こる前に、あなたがたに聞かせよう。

主に向かって新しい歌を歌え、その栄誉を地の果てから。海に下る者、そこを渡るすべての者、島々とそこに住む者よ。

……主は勇士のようにいで立ち、戦士のように激しく奮い立ち、ときの声をあげて叫び、敵に向かって威力を現わす。

（イザヤ42:9-13）

神はイスラエルの民に新しい歌を歌えと命じ、その後では神は勇士として描かれている。ここにおいて、**新しい歌は神の勝利と結びついている**のである。

私たちは、私たちのただ中で神が何をなしておられるかについて、常に注意深くしていなければならない。

神の救いはイエス・キリストの死と復活によって完全であるが、神は終わりの時の新天新地の創造の時まで、ご自身のみ業をなし続けておられるのである。

私たちも黙示録14章にあるように新しい歌を歌い続けよう。